

移植ベーシックセミナー

移植適応についての考えかた

～適応性を断る上で考慮すべきこと～

6/13

2021

AM:10:00

～12:30

sun

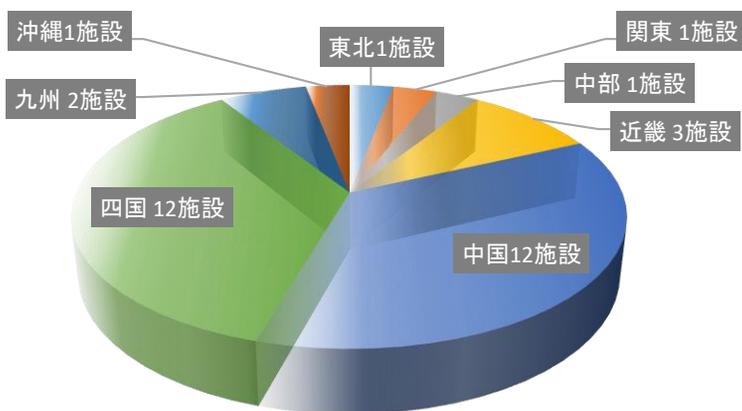
セミナー開催報告

開催方法: Webexによるオンライン開催

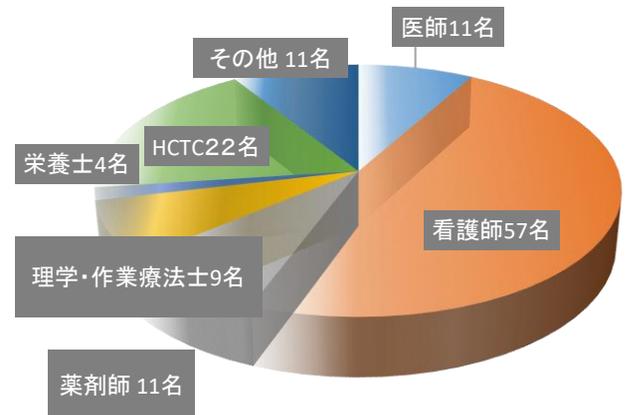
参加者: 125名 参加施設: 33施設

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催となりましたが
ブロックを越えて多数の方々にご参加していただくことができました。

参加施設



参加職種



- ◆ まず最初に、岡山大学病院 輸血部講師 藤井伸治先生から『移植適応について: 医学的な立場から』をテーマとし、移植適応の基本的な考え方や疾患ごとの同種移植の適応についてのご講演をいただきました。資料の中にガイドラインやデータを盛り込んでいただき、医学的な立場からの適応判断の根拠となる部分 お話くださいました。

～参加者からの声 アンケート結果(一部)から～

- ・移植適応の要件が具体的に示されていたので、わかりやすかった。
- ・移植適応判断について関心を持っていたが、講義を受けたことは初めてで、基本的なことから学べて非常に収穫が大きかった。
- ・先生方が説明をしている根拠がわかった。
- ・基本的な部分から最新の状況までが段階的に内容に含まれていた。
- ・移植するか否かの優先順位について、良く理解できた。
- ・移植適応についての理解が深まり、内容もとてもわかりやすかった。



◆ 続いて、東海大学医学部付属病院 看護部 移植コーディネーター室
認定HCTC 三枝真理先生から

『移植適応判断への参画:患者背景をどのように捉える?』をテーマとし、移植の適応判断をする上で患者背景の何を...どのように捉える必要があるのか。捉えた情報をどう活かしていくのかについてご講演をいただきました。創作事例を挙げて具体的にお話していただき、すぐに実践に活かしていきたいと感じました。

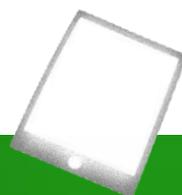
~参加者からの声 アンケート結果(一部)から~

- ・事例で具体的に講義していただき、想像しやすくとてもわかりやすかった。
- ・非常の難しいテーマだと思うが、自分の行っていることの整理や、裏付けとして評価にもつながり、とても勉強になった。
- ・社会的背景からも非常に細やかに移植適応について検討されていることに、感銘を受けた。
- ・コンテキストの捉え方の事例がわかりやすかった。
- ・HCTCとさらに連携、協働できる要素を知る事ができた。難しい質問を投げかけるコミュニケーション能力の高さを感じた。
- ・HCTCの面接で、多角的統合的アセスメントの視点を持って面接されていることがよくわかった。

◆ 最後に、札幌北榆病院 移植医療支援室 認定HCTC 山崎奈美恵先生から『移植治療を支える社会資源と就労支援』をテーマとし、移植を受けるための費用や移植患者の経済的支援、医療者が患者の就労支援に関わる必要性や就労支援の現状についてご講演をいただきました。医療者側から提供しなければ見過ごされてしまう情報や必要とされる支援について定期的に学んでいく事の必要性を感じました。

~参加者からの声 アンケート結果(一部)から~

- ・社会資源について不明なことも多かったが、今回のセミナーで理解を深めることができた。
- ・社会資源が沢山ある事を知っておくことが必要で、MSWにも繋いでいきたい。
- ・自分でも、どういった資源があるのか考えながら支援できるように、学びを深めていきたい。
- ・知らない資源や支援が多く、知識を付けないといけないと感じた。
- ・費用や就労支援について、まだまだ理解でいていない分野であり、とても参考になった。
- ・普段、ワーカーさんやHCTCにお任せしている部分が多いが、今回の研修で新たな知識を得ることができたので、今後活かしていきたいと思う。
- ・就労支援については、また時間を取って開催して欲しい。



今回のセミナー全体を通して、移植の適応性を判断するにあたり、患者様を多面的方向から捉えて検討していくことの必要性や、その方法について学ぶことができました。

また、患者様を多面的方向から捉える手段として、多職種における情報共有・連携は欠かせないことも再認識することができました。

講師を務めていただいた先生方、参加していただいた皆様、ありがとうございました。次回のセミナーも、ご都合がよろしければご参加いただけますと幸いです。よろしく願いいたします。

愛媛県立中央病院

